

もぐりんが行く！文化財めぐり

第22回南区(広島駅周辺)

今回もぐりんが行くのは南区広島駅周辺です。広島城下の東の玄関口として古くから交通の要衝だったこの地域には、どのような文化財があるのでしょうか。



もぐりん



猿猴橋(南区猿猴橋町)

猿猴橋は、毛利輝元が広島城築城をはじめた頃に木橋として架けられ、広島城下の入口として重要な役割を果たしていました。

大正15年(1926)には、鉄筋コンクリートの桁橋に架け替えられ、親柱の上や欄干には金属製の華麗な装飾が施されました。しかし、昭和18年(1943)の金属回収令により、これらの装飾品は供出され、石の親柱と欄干に取り替えられました。

昭和20年(1945)に原子爆弾が投下された際、爆心地から約1.8kmの距離にありましたが、爆風により欄干の一部が破壊されたものの壊滅的な被害は免れました。平成28年(2016)には、被爆70周年記念事業の一環として親柱の鷹や欄干のデザインなどが忠実に再現され、大正時代の美しい姿に復元されました。



稲生神社(南区稲荷町)

稲生神社は、豊受大神、大國主命、稲生武太夫を祀っており、江戸時代に広島藩が編纂した地誌『芸藩通志』によると、「稲荷町にあり、元禄七年、天野某勧請」と記されています。

御祭神のひとり、稲生武太夫(幼名：平太郎)は江戸中期の三次藩士で、寛延2年(1749)7月、平太郎が16歳のときに体験した怪奇を書き記した『稲生物怪録』は、三次を舞台とした有名な妖怪物語として知られています。

神社の社殿は、原子爆弾投下により焼失してしまいましたが、昭和23年(1948)に再建され、現在の社殿は老朽化のため、平成5年(1993)に建て替えられたものです。また、境内には昭和8年(1933)に奉納され、被爆にも耐えた1対のきつね像が鎮座し、神社を守り続けています。



次回(12月号)の文化財めぐりは「佐伯区」です。



私のグルメスポット

ブティコション Petit Cochon (安芸郡府中町)

読者プレゼント(P.15に詳細)

『劇団小豆組第6回本公演 Shiro Doubles～天草四郎にかかる霧～』(詳細→本誌P.2)の山口 優歌さん(劇団小豆組)おすすめのお店



●山口さんより

高校生の頃から家族の誕生日ケーキやお土産用の焼き菓子を買に行っています。最近は気分転換したい時や疲れて甘いもの食べたいと自然と足が向かいます。濃厚なチョコが楽しめるザッハとシュークリームがお気に入りです。シュークリームは上に粉糖だけでなくザラメもかかっている、カリッとした食感が好きです。

●お客様の笑顔を思い浮かべながら作るケーキ。

「府中が大好き」という店主、藤津さんが夫婦で営む。広島、関東の名店で腕を磨いた後、10年前に創業。すっかり地域になくてはならない洋菓子店に。開店当初、誕生日にとお客様のリクエストで作った似顔絵ケーキが好評で、毎年オーダーする人も。今では還暦祝いや結婚式の二次会などニーズが広がっている。店名はフランス語で「小さなブタ」。欧州でブタは幸せの象徴。お客様にお菓子で小さな幸せを提供したいという思いが込められている。



生地にもチョコを混ぜ込んだザッハ(388円/個)とシュークリーム(135円/個)

【Petit Cochon/ブティコション】
安芸郡府中町本町4丁目1-14
石原コーポ1F
TEL / 082-288-8085
営業時間 / 10:00 ~ 19:30
定休日 / 月曜日(祝日の場合は翌日)
駐車場 / 有り(1台)

